

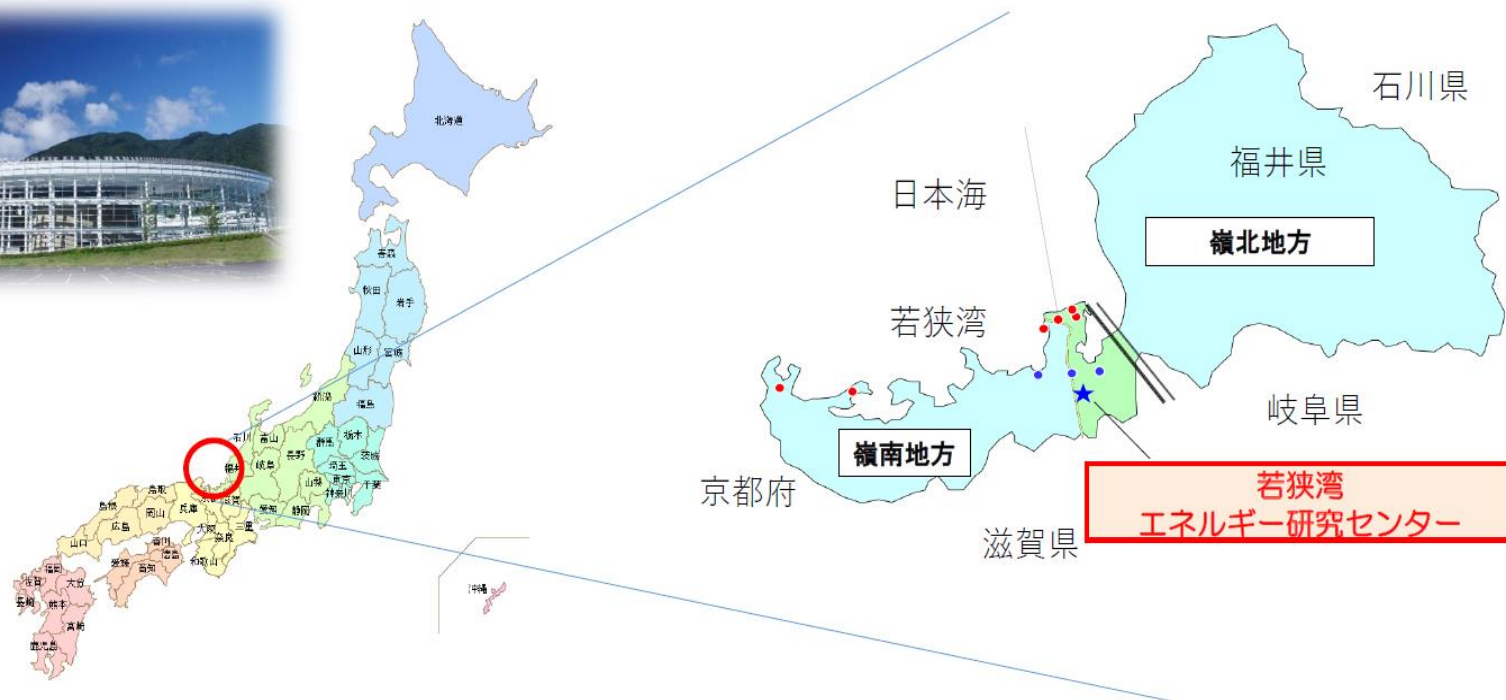
若狭湾エネルギー研究センター 新技術・新製品開発支援制度等の説明

【令和7年度申請向け】

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
産業育成部

(公財)若狭湾エネルギー研究センターの施設紹介

- ・若狭湾エネルギー研究センター(通称:エネ研)は福井県敦賀市に立地
⇒北陸自動車道、舞鶴・若狭自動車道の整備により、関西・中京圏からのアクセスが便利



(公財)若狭湾エネルギー研究センターの事業概要

1. 研究開発

① 加速器[高エネルギーイオンビーム]利用研究

●粒子線がん治療 ●イオンビーム育種 ●材料改質・分析 ●放射線耐性研究[原子力・宇宙材料]

② エネルギー開発研究

●レーザー利用技術開発 ●エネルギー有効利用研究 ●原子力関連先端技術開発

2. 産業支援

① 技術・研究支援

●技術支援 ●研究者・技術者との交流 ●公募型研究資金による研究開発

② 新事業創出・育成支援

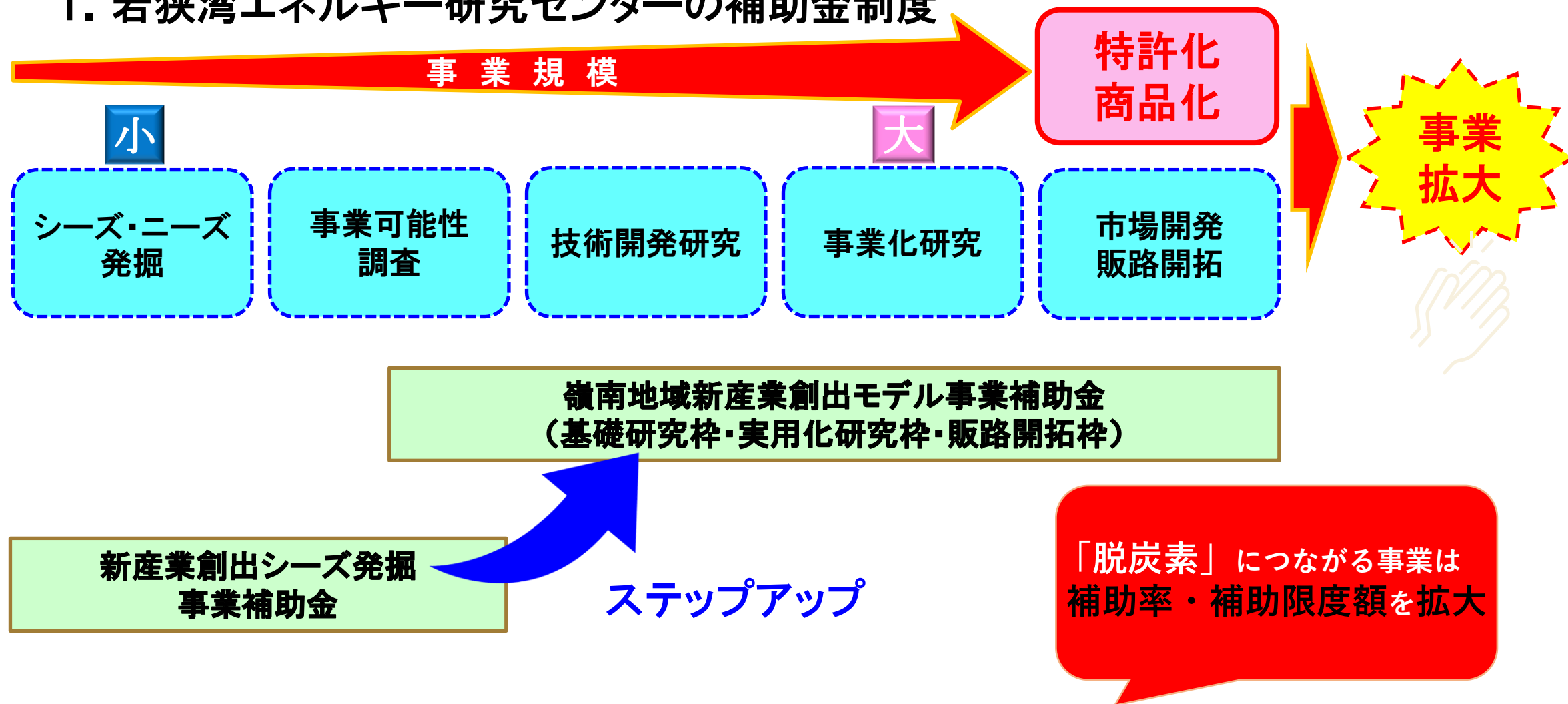
●新事業創出支援(今回説明する補助金制度) ●科学技術支援[科学機器利用・技術相談]

3. 原子力人材育成[福井県国際原子力人材育成センター]

国内外の原子力人材育成

補助金による県内企業の新技術・新製品の開発支援

1. 若狭湾エネルギー研究センターの補助金制度



2. 各補助金制度の概要(その1)

	(1)新産業創出シーズ発掘事業補助金
対象分野	①原子力・エネルギー分野（原子力施設、廃止措置、再生可能エネルギー等関連） ②地域産業活性化分野（地域特産品[農林水産物・伝統工芸品等]の地域資源活用等関連） ③環境分野（CO2排出量削減、廃棄物低減、リサイクル推進、環境保全等関連） ④植物工場・施設園芸分野（新品種、収穫ロボット、工場内の環境制御システム等関連） ⑤防災分野（感染症・熱中症対策、自然災害予兆監視技術、避難所お役立ち製品等関連）
対象事業	上記5分野の新技术・新製品開発に向けたシーズ・ニーズ等調査、簡易な試作実験等
対象者	①県内に事業所を有する企業 ②上記①を含むグループ
補助限度額	1件あたり100万円 （「脱炭素に資する事業」の場合は1件あたり150万円）
補助率	2分の1以内（嶺南企業は3分の2以内） （「脱炭素に資する事業」の場合は3分の2以内）
補助対象経費	消耗品費、外注費、調査費、旅費、謝金 等
募集時期	年間随時募集
補助事業の実施期間	交付決定日から1年以内

新産業創出シーズ発掘事業補助金による成果事例

○地域産業活性化分野

地元敦賀で焙煎された珈琲豆と蒸留酒を活用したリキュールの商品開発



地元敦賀で自家焙煎された極上の珈琲豆をウオッカに漬け込み、ご当地リキュールを開発しました。

(株)ウタ[敦賀市]
(R3,4シーズ)

○地域産業活性化分野

地元鯖江の酒粕と大吟醸酒を使ったプリンの新商品開発



福井県産卵を使い、地元鯖江の酒粕を加え、大吟醸酒のセリーをのせたプリンの開発をしました。

(株)ルクールエイトプラス[鯖江市]
(R5シーズ)

○地域産業活性化分野

着脱式空調機能付き高通気性農作業服の開発



空調機能を備えた快適性に加え、ファッション性に優れた農作業服を開発しました。
空調ファンは脱着式なので、1年を通して着用できます。

(有)ネクストレーディング
[敦賀市]
(R4シーズ)

○防災分野

抗ウイルス加工生地を用いた取替可能なパーティションの開発



軽量かつ組立が容易で、簡易に着せ替え可能でありながら、抗ウイルス加工など生地の機能を重視したパーティションを開発しました。軽量化と、組立・布地脱着の容易性も考慮して設計、着せ替えが簡単にできます。

サカイオーベックス(株)
[福井市]
(R3,4シーズ)

2. 各補助金制度の概要(その2-1)

	(2-1)嶺南地域新産業創出モデル事業補助金 【基礎研究枠・実用化研究枠】
対象分野	①原子力・エネルギー分野（原子力施設、廃止措置、再生可能エネルギー等関連） ②地域産業活性化分野（地域特産品〔農林水産物・伝統工芸品等〕の地域資源活用等関連） ③環境分野（CO2排出量削減、廃棄物低減、リサイクル推進、環境保全等関連） ④植物工場・施設園芸分野（新品種、収穫ロボット、工場内の環境制御システム等関連） ⑤防災分野（感染症・熱中症対策、自然災害予兆監視技術、避難所お役立ち製品等関連）
対象事業	上記5分野の新技术・新製品開発に向けた 調査、基礎的な実験(基礎研究枠) 試作品等の開発、販路開発(実用化研究枠)
対象者	①嶺南地域に事業所を有する企業 ②上記①を含むグループ
補助限度額	【基礎研究枠】 1件あたり200万円（脱炭素に資する事業の場合は1件あたり300万円） 【実用化研究枠】 1件あたり600万円（脱炭素に資する事業の場合は1件あたり900万円）
補助率	【基礎研究枠】 3分の2以内 【実用化研究枠】 3分の2以内（脱炭素に資する事業の場合は4分の3以内）
補助対象経費	消耗品費、原材料費、機械装置費、外注加工費、特許取得費、共同研究費、調査費（基礎研究枠のみ）、販路開拓費（実用化研究枠のみ）等
募集時期	毎年3月下旬～4月下旬頃（予定）
補助事業の実施期間	【基礎研究枠】 交付決定日から当該年度の2月末まで 【実用化研究枠】 同一テーマで最長3年まで補助（ただし審査は毎年度実施）

2. 各補助金制度の概要(その2-2)

	(2-2)嶺南地域新産業創出モデル事業補助金 【販路開拓枠】
対象分野	①原子力・エネルギー分野（原子力施設、廃止措置、再生可能エネルギー等関連） ②地域産業活性化分野（地域特産品[農林水産物・伝統工芸品等]の地域資源活用等関連） ③環境分野（CO2排出量削減、廃棄物低減、リサイクル推進、環境保全等関連） ④植物工場・施設園芸分野（新品種、収穫ロボット、工場内の環境制御システム等関連） ⑤防災分野（感染症・熱中症対策、自然災害予兆監視技術、避難所お役立ち製品等関連）
対象事業	上記5分類の事業に係る技術・製品について、過去のシーズ補助事業、モデル補助事業（基礎研究枠・実用化研究枠）等により開発した技術・製品の展示会出展などの販路開拓および広報宣伝活動（販路開拓枠）
対象者	①「新産業創出シーズ発掘事業」により製品等を開発した企業 ②「嶺南地域新産業創出モデル事業」により製品等を開発した企業 ③電力事業者や若狭湾エネルギー研究センターとの共同研究にて製品等を開発した企業 ④県（原子力安全対策課）が開催した「廃炉業務評価委員会」において、廃炉業務で活用可能と評価された製品等を開発した企業
補助限度額	1件あたり200万円（脱炭素に資する事業の場合は1件あたり300万円）
補助率	2分の1以内（脱炭素に資する事業の場合は3分の2以内）【嶺北・嶺南企業共通】
補助対象経費	旅費、専門家謝金、会場整備費、サンプル製作費、広告宣伝費、ホームページ制作費 等
募集時期	毎年3月下旬～4月下旬頃（予定）
補助事業の実施期間	同一テーマで最長2年まで補助（ただし審査は毎年度実施）

嶺南地域新産業創出モデル事業補助金による成果事例

○原子力・エネルギー分野

避難弱者用放射線遮蔽服等の開発



原子力災害時の避難弱者（子供、高齢者、入院患者等）の放射線被ばく量を低減させるため、放射線遮蔽能力の高いタンゲステンや特殊樹脂を使って柔軟で軽量な遮蔽服を開発しました。今後は遮蔽服の認知度を高めるため学校や病院などへPRしていきます。

(株)NUCLEAR・TECHNOLOGY[美浜町]
(H27,28モデル)

○植物工場・施設園芸分野

キチン質等成長促進剤を用いた地産苔の短期収穫サイクル技術の確立のための研究開発



ふりこけサッサ すぎこけサッサ

原料となるスナゴケ、スギゴケ等を地産化するため、各種成長促進剤ごとに効果を検証しながら、苔を短期間で成長させる「繁殖サイクル技術」を開発しました。

今後は、この地産苔を製品化（ふりこけサッサ等）し、販売PRを行っていきます。

(有)ビックアロー[敦賀市]
(R1,2シーズ)

○環境分野

紙製クリアファイルの実用化に向けた研究開発

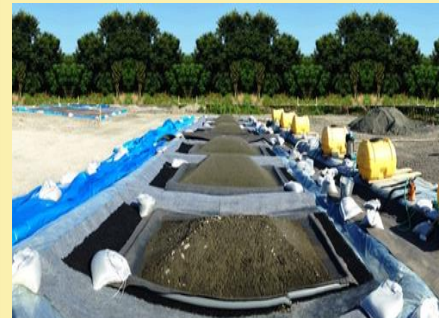


「脱プラスチック」、「SDGs」への取り組み推進を目的として、紙製のクリアファイルを開発しました。開発にあたっては、紙の伸び縮みや波打ちを抑えるため、湿度・温度・熱等の研究を行い、ファイル端までの全面印刷、量産化を実現させました。

若越印刷(株)[敦賀市]
(R3,4,5モデル)

○環境分野

重金属汚染土壌の有害イオン吸着シートの開発



トンネル工事等で発生した土を仮置きする際、盛土下部にシートを敷設することで、浸出水に含まれる自然由来重金属イオンを吸着する「吸着シート」を開発しました。

建設現場の残土や工場排水などによる土壌・地下水の汚染を抑制します。

東洋紡(株)[敦賀市]
(H28,29モデル)

補助事業の詳細は、若狭湾エネルギー研究センターのホームページをご覧ください。

<https://www.werc.or.jp/>



<補助金制度 お問い合わせ先>

(公財) 若狭湾エネ研 産業育成部

TEL: 0770-24-7276

Mail: sangyo@werc.or.jp

令和6年度
展示会見学支援事業
 ～貴社の新事業のアイデアを形にしませんか～

展示会見学でできること

- ・展示物から新商品のアイデアやヒントを得る。
 - ・商品の流通方法を他の商品の加工技術やパッケージを参考に考える。
 - ・他の商品とコラボして販路拡大する。
 - ・人気商品のターゲット層を参考に考える。
 - ・来場者との会話によりアイデアが思い浮かぶ。
 - ・名刺交換や交流の中で自社の商品やサービスをアピールする。
- など、展示会で有益な情報を得れば
 いいアイデアが浮かぶかも。



「展示会ツアー」スケジュール(例)

バス移動（東京は鉄道）

早朝 エネ研/敦賀駅/敦賀IC/ 出発（大阪、東京：AM6時30分頃 出発）

↓
 10時頃 展示会 会場到着（東京：現地集合）

↓
 展示会場 情報収集、情報交換

↓
 17時頃 展示会 会場出発（東京：現地解散）

↓
 夜 敦賀IC/敦賀駅/エネ研 到着・解散



令和6年度
新事業・商品等 リモート相談会
 ～新たな事業展開の扉を開きませんか～

相談会の趣旨

- ・新規事業や商品の開発や、これまでの事業の改善に取り組み、いま一つ上手くいかないと感じることはありませんか？
 外部の専門家からのアドバイスを聞いて、新たな展開への扉を開く機会をご提供します。
- ・リモート形式（TV会議）に不慣れでも、各会場に用意するパソコン画面を通じて専門家に相談することができます。
- ・ご相談内容に最適な分野の専門家がご相談に応じます。

＜相談内容の一例＞

- ・新規事業や新商品について、今後はどのような展開に進めれば良いか。
- ・現在の商品や事業が頭打ちであり、課題を絞り込みどのように改善すれば良いかを知りたい。
- ・新規事業や新商品のターゲット層の絞り込み方について、助言がほしい。



＜ご連絡のご登録＞

（公財）若狭湾エネ研 産業育成部

TEL: 0770-24-7276

Mail: sangyo@werc.or.jp

にメールアドレスをお知らせ下さい。